

第2回 RIEC-CNSI ナノエレクトロニクス・スピントロニクス・フォトンクスに関する国際ワークショップ (第5回スピントロニクス国際ワークショップ)

2nd RIEC-CNSI Workshop on Nanoelectronics, Spintronics and Photonics
(5th RIEC Symposium on Spintronics)

開催日：平成21年10月22日（木曜日）～23日（金曜日）（2日間）

開催場所：東北大学電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

参加人数：71名

2009年10月22、23の両日に、本学電気通信研究所とカリフォルニアナノシステムインスティテュート（CNSI）が主催する標記国際ワークショップが附属ナノ・スピン実験施設において開催された（組織委員長：通研・大野英男、カリフォルニア大サンタバーバラ校（UCSB）・David D. Awschalom 教授、本学電気情報系GCOEプログラム「情報エレクトロニクスシステム教育拠点」との共催）。第1回目のワークショップが昨年10月にUCSBで開催され、本学から教員・研究員16名、学生3名の合計19名が派遣されたのを受け、第2回目となった今回は、UCSBから教員6名、学生5名の11名が参加し、本学の電気通信研究所、金属材料研究所、多元物質科学研究所、工学研究科、及び理学研究科から教員20名、研究員11名、学生29名の60名（合計71名）が参加した。ワークショップでは口頭講演13件（東北大7件、UCSB6件）、ポスター講演28件（UCSB5件、東北大23件）のナノエレクトロニクス、スピントロニクス、及びフォトンクスに関する最先端の研究成果が発表され、活発な討論が行われた。本学とUCSBは電気通信研究所が世話部局として国際学術交流協定を結んでいるが、今回のワークショップを通してさらに交流が深まった。また、来年度も開催を予定している。本ワークショップ開催にあたり財団法人電気通信工学振興会より支援をいただいた。ご支援を賜りました各位に心より御礼申し上げます。

